

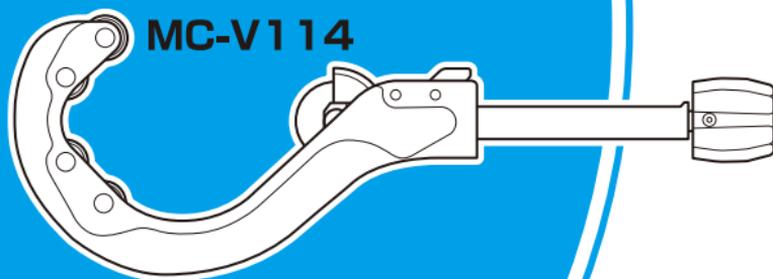


保管用

樹脂管専用切断工具

エンビ管カッター (大口径用)

取扱説明書



- お買い上げありがとうございました。
- ご使用になる前に、この取扱説明書をすべてよくお読みのうえ正しくご使用下さい。
- この取扱説明書は、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管して下さい。



未来工業株式会社

安全上のご注意

- ご使用前に、この「安全上のご注意」すべてをよくお読みのうえ、指示に従って正しくご使用下さい。
- 注意事項は「△警告」・「△注意」に区分しています。

 警告	誤った取扱いをすると、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意です。
 注意	誤った取扱いをすると、使用者が傷害を負う可能性が想定される場合、および物的損害のみの発生が想定される内容のご注意です。

なお「△注意」に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守って下さい。

- この取扱説明書は、お使いになる方がいつでも見られる所に、必ず保管して下さい。

警告

- エンビ管カッターの刃(以後カッターホイール)は大変鋭利になっています。直接、手指で触れないよう注意して下さい。切断作業時および、カッターホイール交換時には必ず保護手袋を着用して下さい。
※手指を切る等、大変危険です。
- 切断作業の際には安全靴を着用し、管下部を支えるなどの措置をとって下さい。※切断終了時に管とエンビ管カッターが一体で落下する恐れがあり、大変危険です。
- エンビ管カッターには、カッターホイールの早戻り機構が付いています。早戻しをする際にはカッターの戻る位置に手指を近づけないで下さい。※この機構は、条件により非常に強い力で戻ることがあり、手指を挟んでけがをする危険があります。

注意

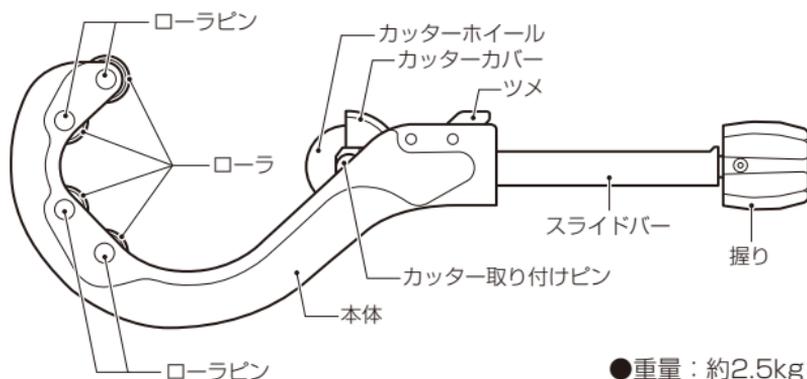
- エンビ管カッターを落下させないで下さい。
※破損又は機能に支障が発生する恐れがあります。
- この取扱説明書に記載された使用目的、仕様の範囲でご使用下さい。エンビ管カッターを改造したり、仕様を逸脱することはしないで下さい。※エンビ管カッターの故障原因となるばかりか、事故を誘発する恐れがあります。
- エンビ管カッター及び管に付着している土・砂や異物は取り除いてから使用して下さい。※エンビ管カッター及び管に土・砂や異物が付着したまま切断作業をするとカッターホイールが破損したり、切断面が変形する原因となります。
- エンビ管カッターの各部は常に注油・点検を行い、損傷のある状態では使用しないで下さい。

適合・各部名称

■適合管

硬質ビニル管	<ul style="list-style-type: none">• VE管(呼び42~100)• VP管・HIVP管・HTVP管(呼び40、50、65、75、100)• VU管(呼び40、50、65、75、100)	管の外径 φ48~ φ114mm迄
大口徑可とう管	• ミラレックス(MFX)(呼び42~100)	
ポリブテン管 (呼び40、50、65、75、100) ガス用ポリエチレン管 (呼び40、50、75、100、100U) 水道配水用ポリエチレン管 (呼び40、50、75、100※) <small>※JW WA K144の呼び100は切断できません。</small>		

■各部の名称



■添付品

- 固定バンド：4本(バンド幅：25mm、長さ：1,200mm)
- すべり止め：4枚(幅：110mm、長さ：330mm)

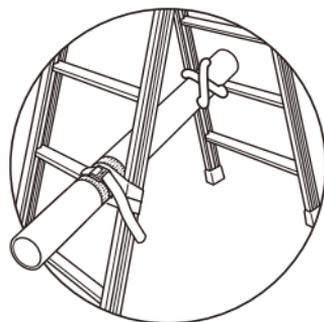
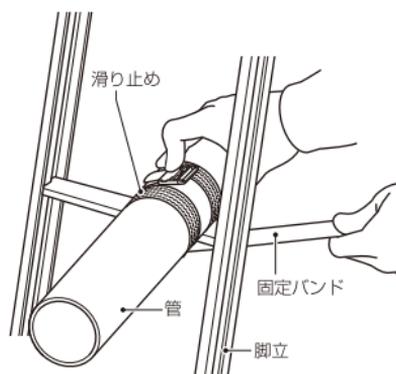
■別売品

- 替刃(カッターホイール/品番：MC-V114H)

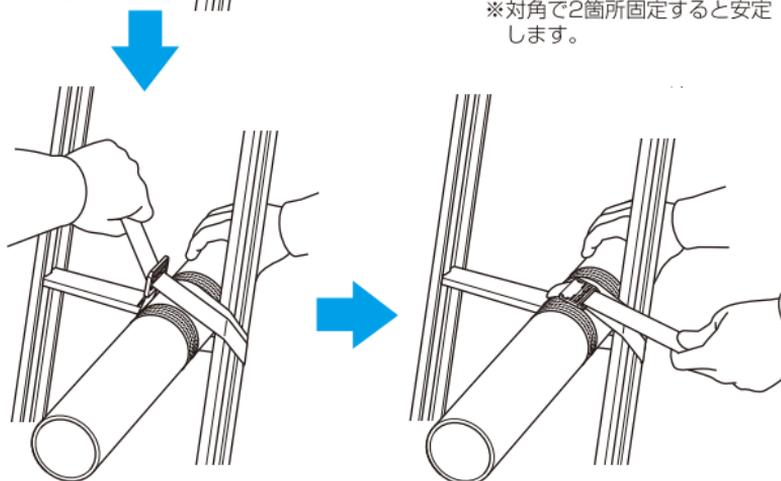
使用方法(管の固定)

●脚立を使用した固定例

- ①管を脚立のステップ部に通します。
※エンピ管カッターが回転できる高さを確保して下さい。
- ②管にすべり止めを巻き付け、固定バンドで脚立に堅牢に取り付けます。



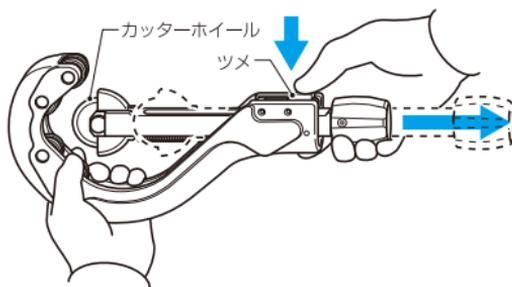
※対角で2箇所固定すると安定します。



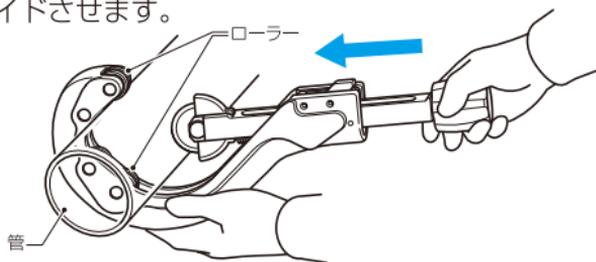
使用方法(管切断)

●管にエンビ管カッターをセットします。

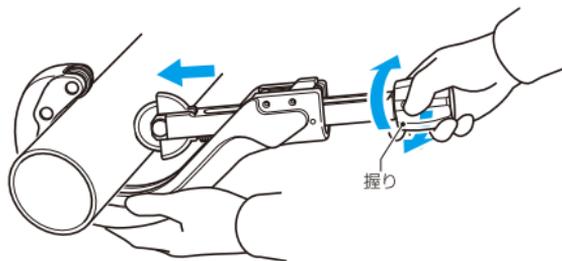
- ①切断面の異物、汚れなどをウエスできれいに拭き取ります。
- ②カッターのツメを押してカッターホイールを管の外径より開きます。



- ③カッターのローラー部を管にあてがい、カッターホイールが管にあたるまでスライドさせます。



- ④カッターホイールが管に少し喰い込むぐらいに握りを右に回し調整します。

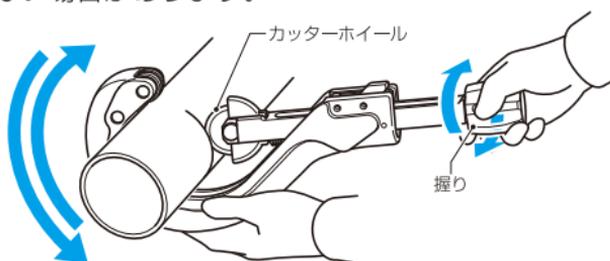


使用方法(管切断)

●管を切断します。

①カッターを前後に2～3回往復し、ローラー部とカッターホイールを管になじませます。

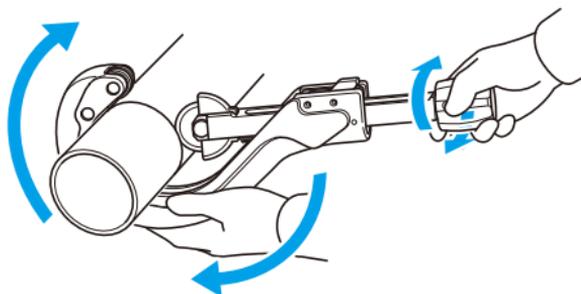
※カッターのローラーが管に確実に接してないと、真直ぐに切断できない場合があります。



②カッターを矢印方向に回しながら少しづつ握りを右に回しながら、切り込み切断します。

※切り込みを一度に深くしすぎると、切断荷重が大きくなり、カッターホイールが破損する恐れがあります。

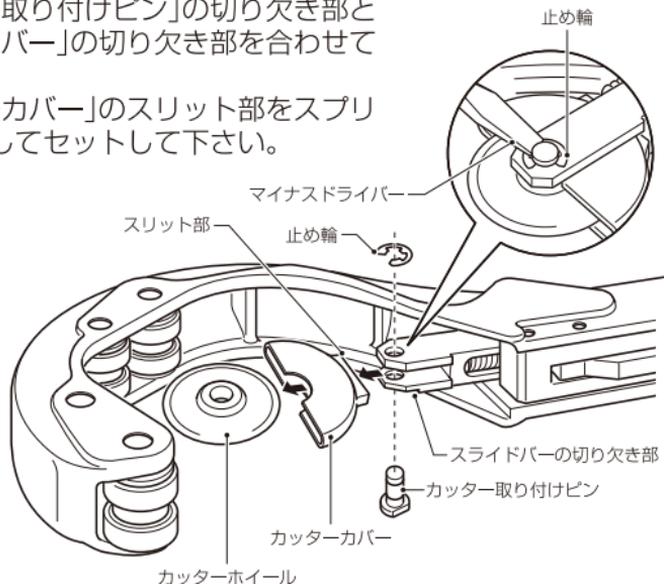
※スライドバーを最大に送り込んだ状態にある場合、ツメが機能しないことがあります。握りを左に少し回すと機能するようになります。



※カッターは矢印方向でスムーズに切れるよう、調整しています。逆方向では上手く切断できない場合があります。

替刃(カッターホイール)の交換

- ① マイナスドライバー等で「止め輪」を外し、「カッター取り付けピン」を抜き取り、「カッターホイール」と「カッターカバー」を取り外します。
- ② 新しい「カッターホイール」を逆の手順で取り付けます。
 - ※ 「カッター取り付けピン」の切り欠き部と「スライドバー」の切り欠き部を合わせて下さい。
 - ※ 「カッターカバー」のスリット部をスプリング側にしてセットして下さい。



(ご注意)

● 替刃交換時は安全確保のため、保護手袋、安全帽、保護眼鏡等を着用して下さい。

※ご不明な点や修理を依頼されるときは、お買い上げの販売店又は、弊社営業窓口までお問い合わせ下さい。



未来工業株式会社

住 所：大垣市外・輪之内町 〒503-0295

T E L：(0584)68-0008(代)

連絡先：営業企画課

7041SM